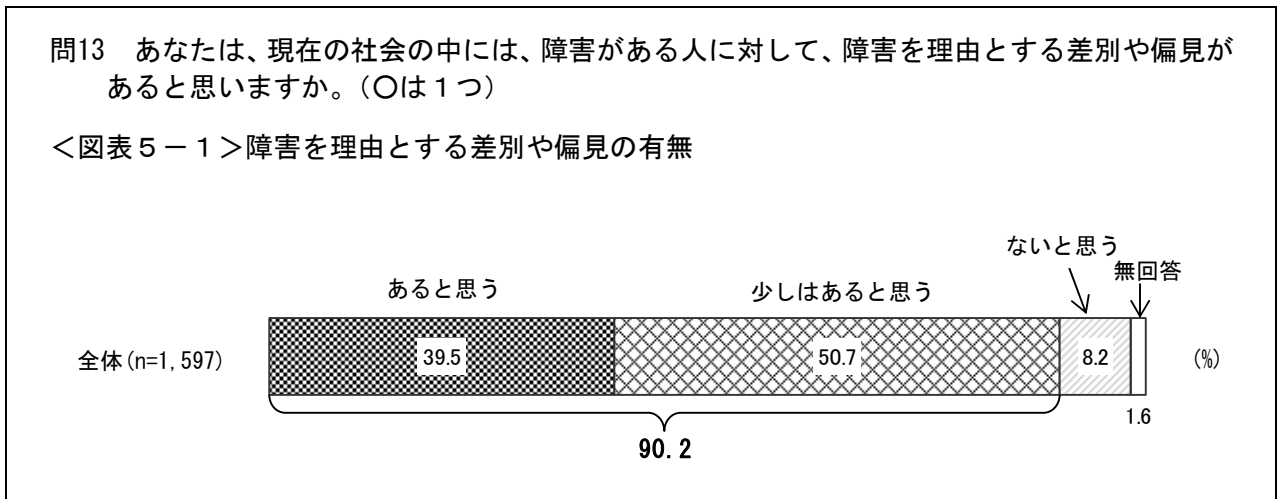


5 障害者差別について

（1）障害を理由とする差別や偏見の有無

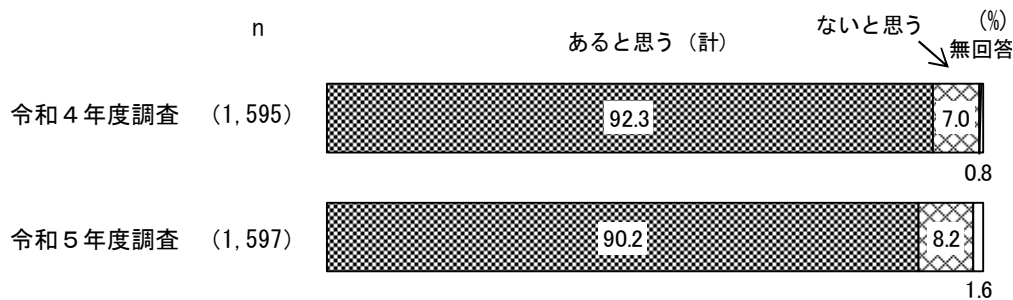
◇『あると思う（計）』は9割



障害を理由とする差別や偏見の有無を聞いたところ、「あると思う」（39.5%）と「少しはあると思う」（50.7%）を合わせた『あると思う（計）』（90.2%）は9割となっている。

一方、「ないと思う」（8.2%）は約1割となっている。（図表 5 - 1）

〔参考〕 令和4年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

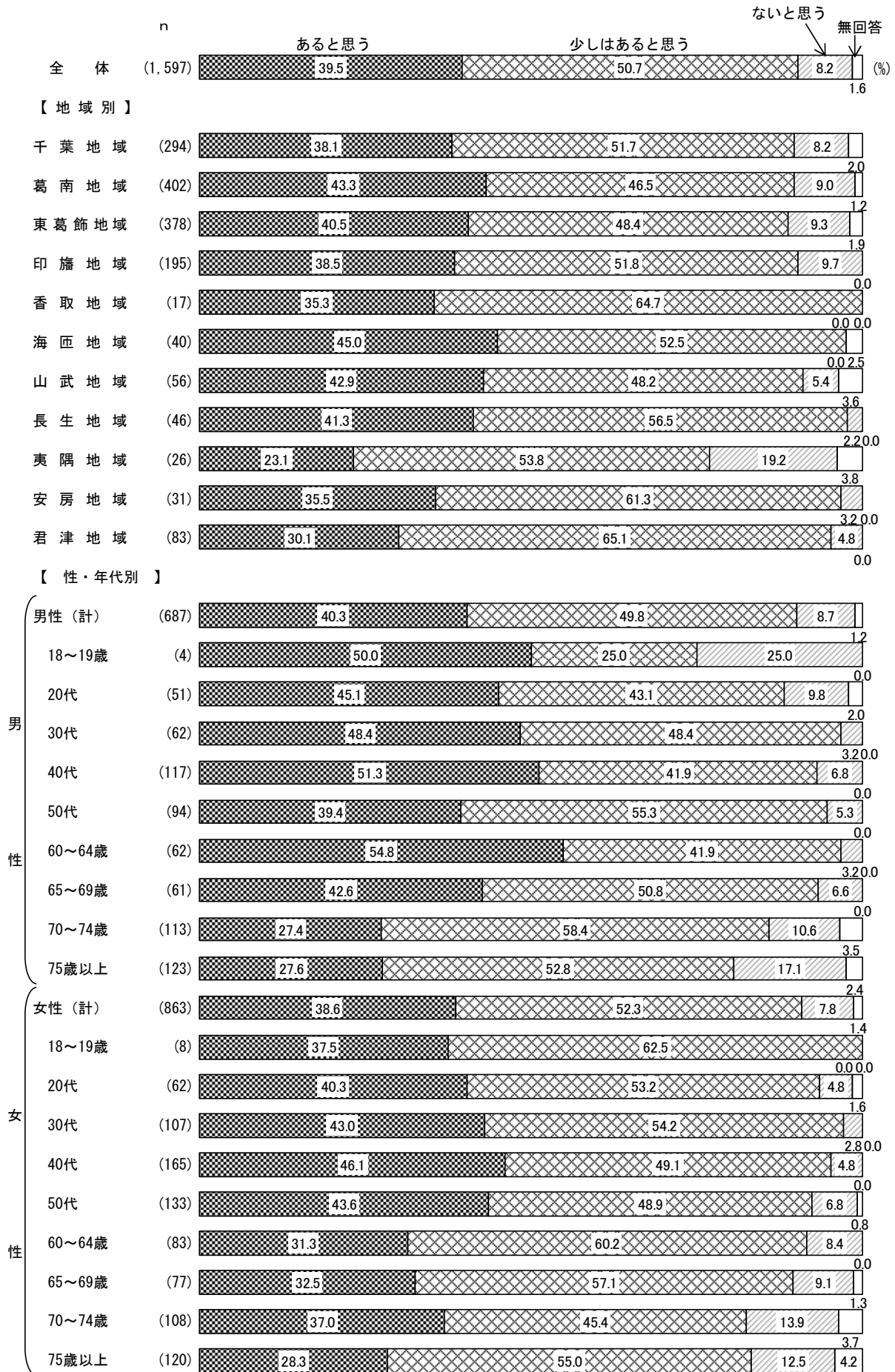
地域別で大きな傾向の違いは見られない。（図表 5 - 2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『あると思う（計）』は、女性の30代（97.2%）が約10割、女性の40代（95.2%）が9割台半ばで高くなっている。

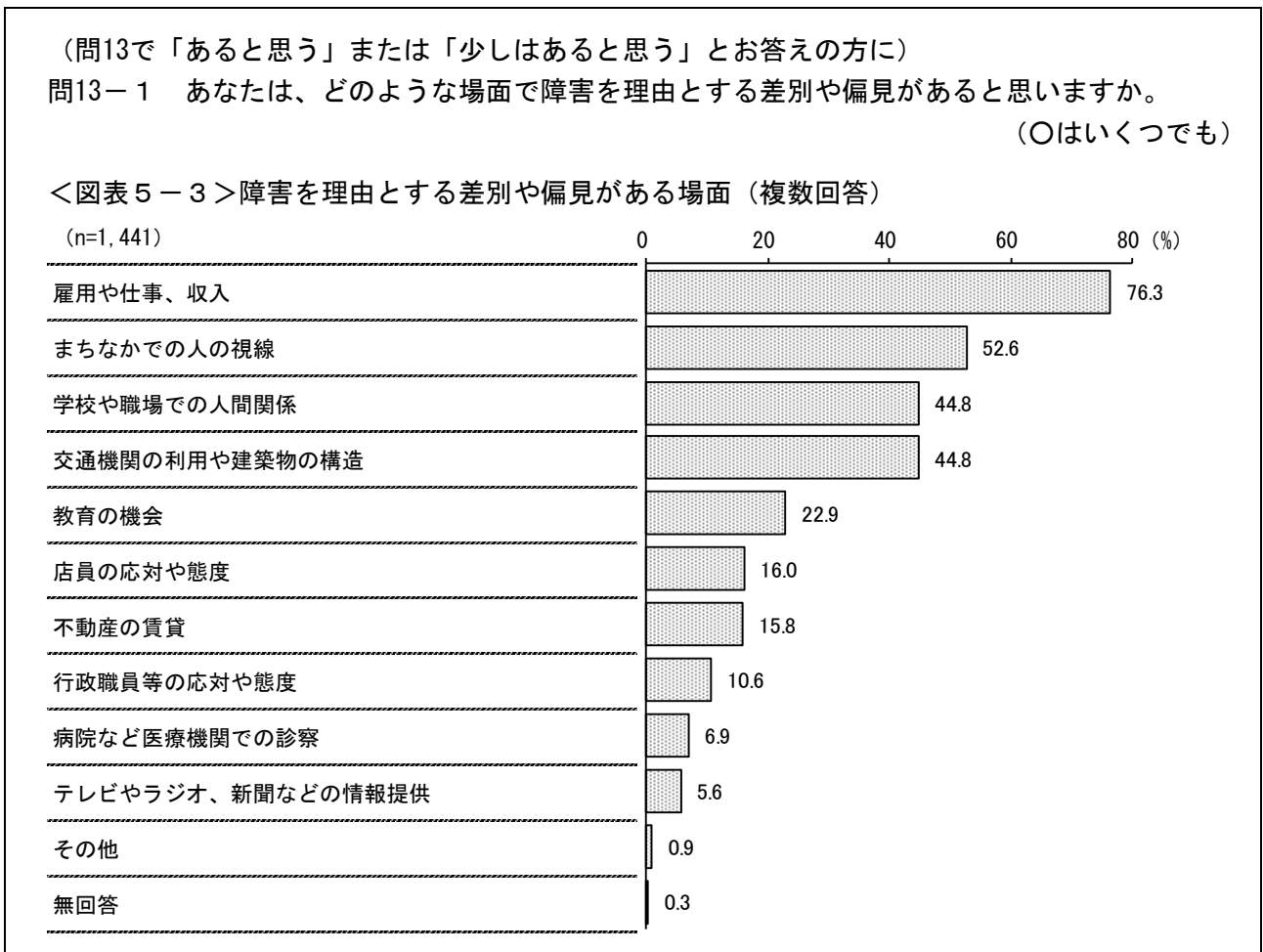
一方、「ないと思う」は、男性の75歳以上（17.1%）が約2割、女性の70～74歳（13.9%）が1割台半ばで高くなっている。（図表 5 - 2）

<図表5-2>障害を理由とする差別や偏見の有無／地域別、性・年代別



（２）障害を理由とする差別や偏見がある場面

◇「雇用や仕事、収入」が 7 割台半ば



障害を理由とする差別や偏見があると回答者した1,441人を対象に、障害を理由とする差別や偏見がある場面を聞いたところ、「雇用や仕事、収入」（76.3%）が7割台半ばで最も高く、以下「まちなかでの人の視線」（52.6%）、「学校や職場での人間関係」（44.8%）、「交通機関の利用や建築物の構造」（44.8%）が続く。（図表 5－3）

【地域別】

地域別にみると、「まちなかでの人の視線」は“山武地域”（66.7%）が6割台半ばで高くなっている。

「交通機関の利用や建築物の構造」は“葛南地域”（51.8%）が5割を超えて高くなっている。

（図表 5－4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「雇用や仕事、収入」は、男性の65～69歳（87.7%）が約9割、男性の70～74歳（85.6%）が8割台半ばで高くなっている。

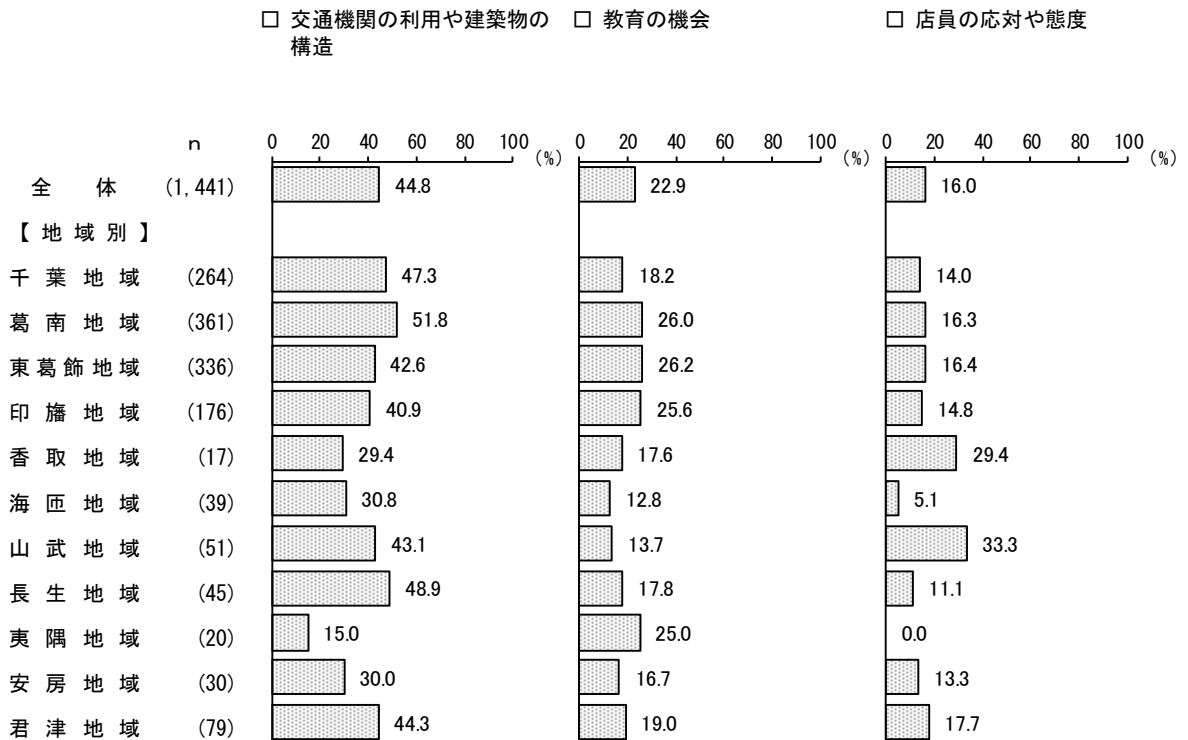
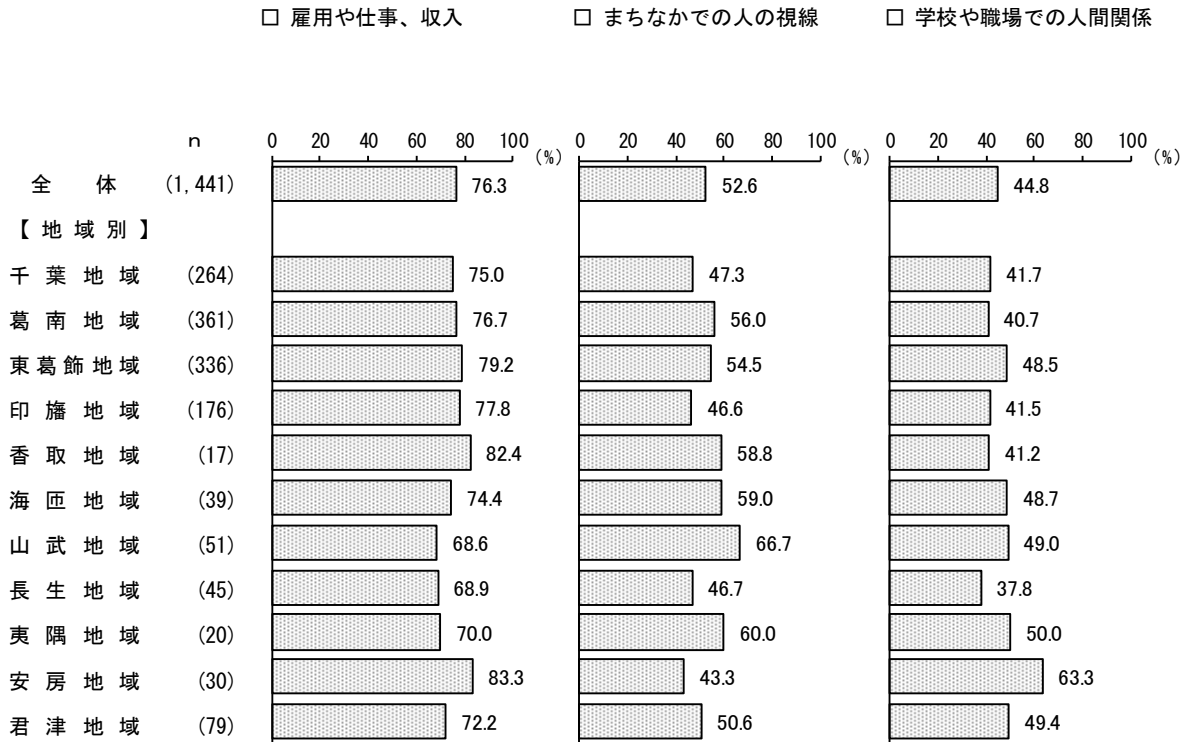
「まちなかでの人の視線」は、女性の20代（67.2%）が約7割、女性の30代（65.4%）が6割台半ば、女性の40代（61.8%）が6割を超えて高くなっている。

「学校や職場での人間関係」は、女性の30代（60.6%）が6割で高くなっている。

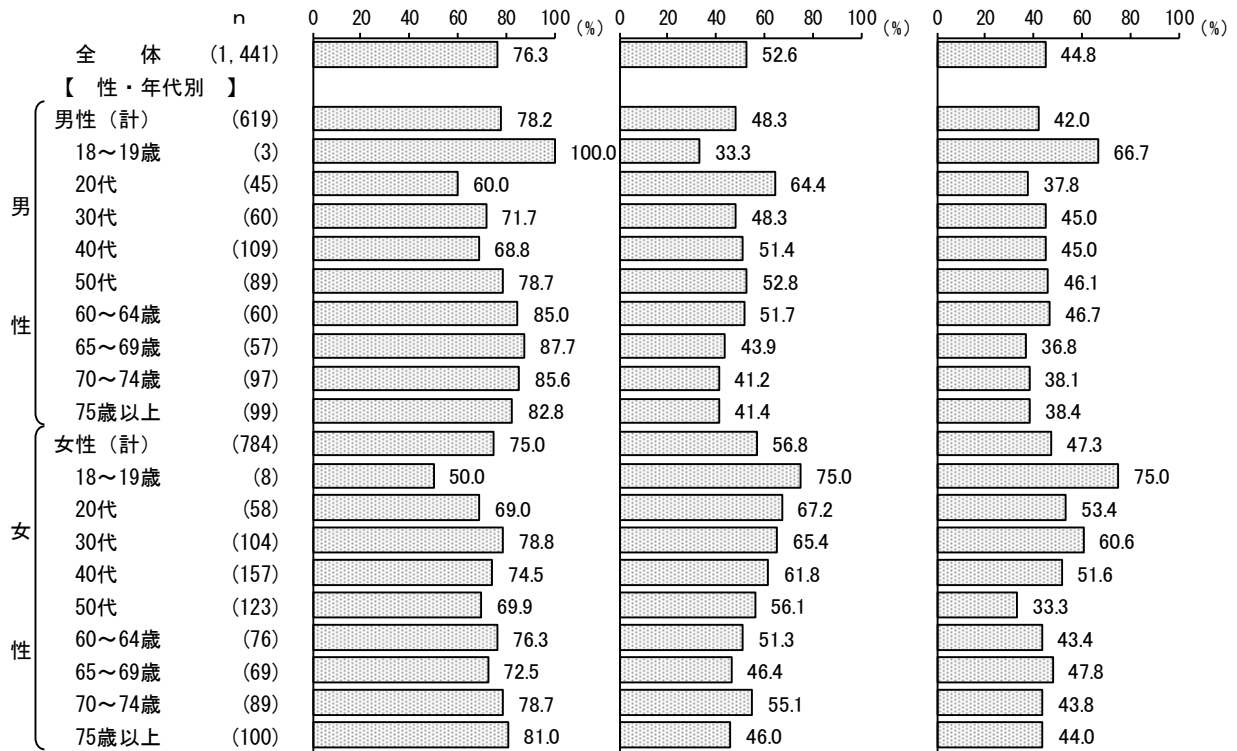
「交通機関の利用や建築物の構造」は、男性の65～69歳（61.4%）が6割を超え、女性の70～74歳（55.1%）が5割台半ばで高くなっている。（図表5－4）

<図表5－4>障害を理由とする差別や偏見がある場面（複数回答）

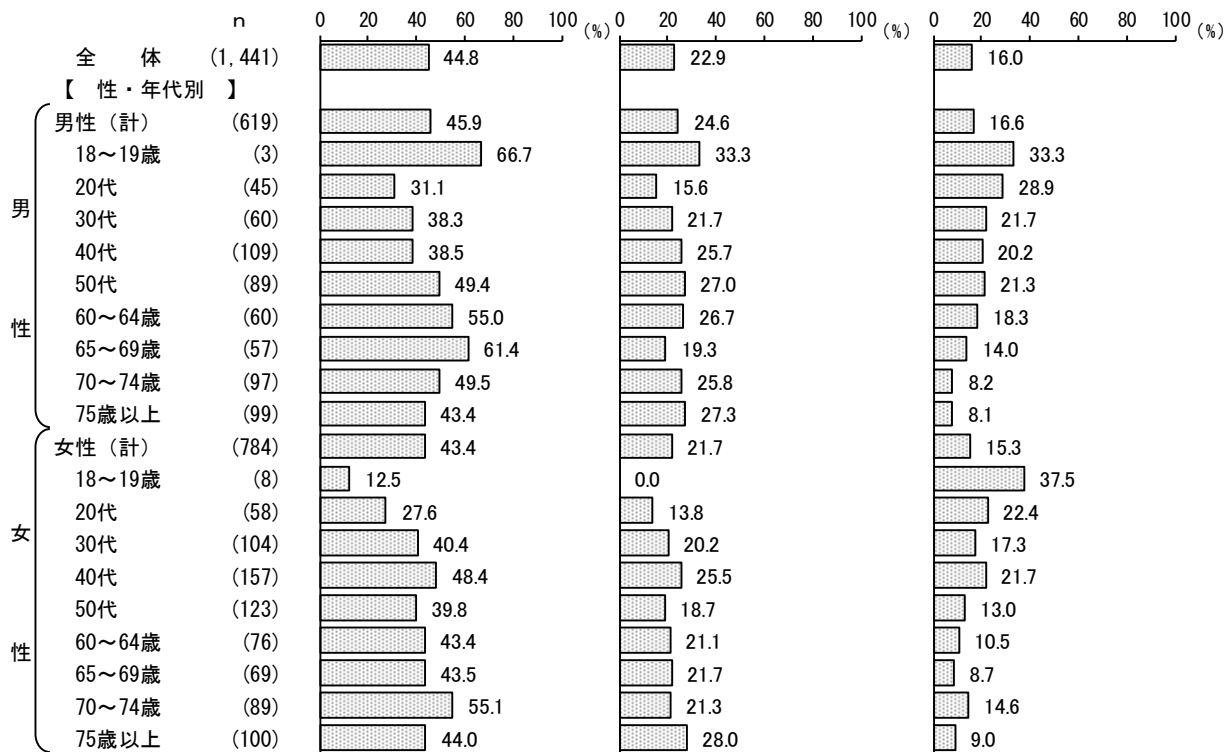
／地域別、性・年代別（上位6項目）



□ 雇用や仕事、収入 □ まちなかでの人の視線 □ 学校や職場での人間関係



□ 交通機関の利用や建築物の構造 □ 教育の機会 □ 店員の対応や態度



このほかにも、「障害者差別について」や問13について、ご意見やご提案があれば自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、162人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「障害者差別について」の自由回答（抜粋）

- 身近に障害者の方がいないとなかなか理解出来ないと思いますので、やはり子供のうちから家庭教育が必要と考えます。（女性、70～74歳、千葉地域）
- 身内に障害者がいるのですが、幸いなことにあからさまな差別を受けたことはありません。いつも助けていただいています。世の中の障害を持つ人たちが、（もちろんそうでない人たちも）悲しい気持ちを持つことなく、幸せに暮らせる社会であることを願っています。（女性、50代、山武地域）
- 障害者用に駐車スペースが入り口近くに用意されているが実際使われているのは健常者が多いと思います。障害者を配慮する気持ちを持つ人が少なく感じます。お店の人では注意しづらいと思います。第3者が注意もしくは取り締まることも必要なのでは。（男性、50代、千葉地域）
- 障害者の方との交流が無いのが誤解や不安、怖さを生むのでは、と思います。もっと障害者を支援するだけではなく障害者の方の力をお借りするような、流れが欲しいです。（女性、50代、東葛飾地域）
- 障害者でも仕事ができ、本当に優秀な人もいます。しかしながら、障害者だから出世できないような人も多くいるため、そういった差別はなくなってほしいと感じる。（女性、30代、千葉地域）
- 障害のある人が博物館や美術館に行こうとしてもエレベーターやエスカレーターがなく会場に入れない所が市町村には多くある。トイレも同様。催し物のパンフレットは多く配布されるが、障害者も行きやすい設備が早急にほしい。特に安房地域。（女性、70～74歳、安房地域）
- 住んでいる地域で、学校、職場で障害を抱える方と接する機会がなかったので、どうしても接し方が分からず不自然な反応をしてしまいがちです。いろいろな方がいて当たり前という意識が育つ雰囲気のある社会であって欲しいです。（女性、50代、葛南地域）
- 障害のある方には手話を教わるなど、楽しい体験をすることは相手の理解にも繋がると思うので、そういうイベントがあったらいいなと思います！！（女性、18～19歳、東葛飾地域）
- 子どもの頃に障害のある同年代の子どもに関わらなかった人には特に差別的な意識があると感じる。特別支援学級の設置された学校を増やす。又はインクルーシブ教育を活用するなどして、障害の有無に関わらず様々な個性の子どもたちが平等に関わり合う環境があると良いと思う。（女性、20代、東葛飾地域）